

「宅急便1個につき10円の寄付」のご報告

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受けて、ヤマトグループは、被災地の産業基盤の復興と農業・水産業の再生支援を目的とした「宅急便1個につき10円の寄付」を決定し、1年間継続してまいりました。

これにより、2012年3月期の寄付金総額は約142億3,600万円となりました。

この貴重な寄付金は、財務大臣より「指定寄附金制度」の適用を受けた公益財団法人ヤマト福祉財団に全額非課税で寄付され、当財団が募った他の企業や団体、一般の方からの寄付金と合わせて、「目に見える支援、速い支援、効果の高い支援」という基本方針の下、有識者による第三者委員会にて、国からの支援を受けにくい案件などを優先し、助成先を選定しました。

すでに、宮城県南三陸町の仮設魚市場や岩手県野田村の保育所の建設費用などに充てられ、2012年4月26日現在、累計助成件数は31件、累計助成総額は約142億6,600万円となりましたので、ご報告申し上げます。

基盤別助成事業(2012年4月26日現在)

| | | |
|-----|-----|------------|
| 水産業 | 16件 | 75億8,900万円 |
| 農業 | 5件 | 24億4,900万円 |
| 生活 | 7件 | 38億6,500万円 |
| 商工業 | 3件 | 3億6,300万円 |

宅急便をご利用いただいたすべてのお客様、そして、ヤマトグループの活動にご理解とご支援をいただいた株主、投資家の皆様、行政の方々に心より御礼申し上げます。

なお、この寄付活動は2012年3月末をもって終了させていただきましたが、引き続き、復興・再生支援の一助となるべく、事業を通じて被災地の一日も早い復興に貢献してまいります。

助成による復興事例

● 仮設魚市場の建設

宮城県南三陸町

助成決定額 3億4,700万円



2011年10月より営業がスタートした仮設魚市場の外観



宮城県一の漁獲量を誇る秋サケの初競り

● 農業機械などの整備(89事業体)

宮城県

助成決定額 合計13億2,400万円



多くの農業施設、農業機械が津波で甚大な被害を受けた中、いち早く営農再開を目指す先導的な農業経営者を支援

● 保育所の再建

岩手県野田村

助成決定額 2億8,000万円



津波により流失した旧施設



保育所の建設が予定されている安全な高台